

子どもおとなもみんなの劇場へGO!

わたしたちは「劇場」を人間らしく生きていくために大切な場所だと考えています。子どもと一緒にパフォーマンスを楽しんだり、お芝居を見て感動を共有したり、劇場はイメージ体験の広場です。学校や地域では出会えない、すてきなヒトやコトに出会えます。子どもたちの可能性を広げ、暮らしを豊かに彩る“みんなの劇場”にあなたも参加してみませんか？

※コロナ禍でステージが変更になる場合があります。



2021年度鑑賞会ラインナップ ～ひとつひとつが深く心に残るようなそんな作品を選びました。～

(観劇方法は裏面をご覧ください。)

2021
5月

幼児
～大人
5月9日(日) 17:00開演
百花プラザ

日本の伝統芸能を親子で楽しむ企画です。
蝦名宇摩
「津軽三味線・民謡
弾きがたりコンサート」

蝦名宇摩(えびなうま)さんの演奏スタイルは、津軽三味線の独奏のほか、全国民謡の弾き語り、尺八演奏、沖縄三線、奄美の島唄を織り交ぜます。2011年3月に東日本大震災による福島原発事故の影響を恐れ埼玉から岡山県瀬戸内市へ移住した宇摩さん。お話と演奏でつづるコンサートです。



7月

幼児
～大人
7月4日(日) 17:00開演
百花プラザ

劇団むう
「おこんじょうり」
作/さねとうあきら 演出/いのご福代

まじないで病気を治す目が見えないイタコのばばさまがおった。年を取ったせいか、何事もうまくいかない。そんなある日、腹ペこのキツネがやってくる。ばばさまは、家中の食べ物やキツネにやると、お礼にじょうりをうなった。キツネのおこんのじょうりはどんな病気でも直してしまうと大評判。ばばさまとおこんの情愛あふれる物語。



9月

幼児
～大人
9月12日(日) 17:00開演
百花プラザ

オーバートーン
ミュージッククラウン
「走るピアノ」

「走るピアノ」に乗って日本全国、世界各地どこにでも、いつかあなたの住む街へ! 日本人初のピアノを弾きながら走るパフォーマンス。クラウン二人による楽しいパレードです。



潤



カノン



12月

幼児
～大人
12月12日(日) 14:30開演
百花プラザ

人形劇団ひとみ座
「はれときどきぶた」

作/矢野四郎(岩崎書店刊) 脚本・演出/西上寛樹

子どもたちを夢中にした奇想天外なお話が人形劇になって帰ってきた! ノリヤスの書いた《あしたの日記》が次々とありえない現実! トイレにへび、えんぴつのでんぶら、金魚のアクションペー!! そしてスマホの天気予報は「はれときどきぶたでしょう?」えっ! どうなる??



2022
2月

幼児
～低学年
2月27日(日) 14:30開演
百花プラザ(予定)

くわえ・ぱべつとステージ
人形劇「やもじろうとはりきち」

作/降矢なな(佼成出版社) 脚色・演出/つげくわえ 美術/ごうどやすこ 音楽/シモシュ

ヤモリのやもじろうと、ハリネズミのはりきちは、あかちゃんときから、だいのなかよし。でも、いつからか、やもじろうは、はりきちとあそぶのがつまらなくなっていました。いっしょにあそべなくなった、ふたり。そして、ついに「はりきちなんか、だいきらい!」と、いってしまいます。それでも、やっぱり、大切なともだちだと気づく事件が起こります!



2・3月はどちらか選んでみます

3月

小学生高学年
～大人
3月6日(日) 17:00開演
百花プラザ

劇団うりんこ
「わたしとわたし ぼくとぼく」

作・演出/関根信一(劇団フライングステージ)

「自分とは違う人」も大切に出来る世界を

このお芝居では、LGBTを題材としてあついています。お芝居のなかで描いたのは、用語の説明ではなく、人と人の関わり方、一人一人違う生き方をどう認め合っていくか、というようなことです。劇中では、そういった人々たちをからかったり貶めるような言葉は使わないように努めました。



特別鑑賞会
2022年5月以降
実施予定

みんなの劇場・おかやま設立35周年記念公演

イタリアのシャボン玉クラウン
ミケーレ・カファッジ Art.31

「OMINO(オミーノ)ー雨降りの小人」

雨降りの夜に起こる不思議なシャボン玉のはなし 外は雨 家の中も雨。水浸しになったアパートで、でてくるでてくるシャボン玉! 台所のコップから、傘立てから、シャボン玉が踊りだす。うかれて男はいつのまにか夢の世界へ

